

工業部会通信

(発行) 相模原商工会議所工業部会
(編集) かながわ経済新聞社
代表: 千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL: 042 (851) 2021
FAX: 042 (851) 3532
随時発行です。工業部会の定期活動をご紹介します。印刷しご自由にお読み下さい。

相模原市青年工業経営研究会 次年度会長に渡邊氏

総会で決まった次年度役員(前列中央が渡邊氏)



4月に新体制発足 副会長に河野氏選出

相模原市青年工業経営研究会(青工研)は17日、同市中央区中央の相模原商工会館で2013年度・次年度役員選任総会を開催。次年度会長に渡邊将文氏(MEMOTEKノス社長)とする人事案を承認した。任期は今年4月から来年3月までの1年間。このほか、副会長2人、渉外理事、財務理事、幹事、プロック長などの人事も固め、次年度からの新体制が決まった。

み道貫 開通一部延期に 相模原愛川IC

国土交通省と中日本高速道路(NEXCO中日本)は、3月に開通を予定していた「さがみ縦貫道路」相模原愛川インターチェンジ(IC)・高尾山IC間の14.7kmを今年6月に延期すると発表した。

同省・地方整備局総武国道事務所によると、周辺の工事が難航したためという。

用地取得の遅れのほか、トンネル工事では想定よりも固い岩盤が発見されたことが原因として、さがみ縦貫道路は、

副会長には、河野崇氏(河野製作所社長)、南篤史氏(ミナミ工機取締役)の2人。渉外理事に高田浩樹氏(ファルコン常務)、財務理事に鈴木道雄氏(永進テクノ社長)が選ばれた。監事には小林昌純氏(コバヤシ精密工業社長)、吉田英訓氏(ミヨシ・ロジスティック社長)の会長経験者2人が決まった。

一方、会活動を実践する「プロック会」は3つあり、各プロック長として、大槻実氏(大槻板金工業所社長)、新海肇氏(新海製作所代表)、大峰英一氏(タイホー社長)が選出された。

会長に決まった渡邊氏は、2010年に青工研に入会。これまでの4年間でプロック長、副会長、

海老名IC 相模原愛川ICが03年3月に、茅ヶ崎ジャンクション(JCT)・寒川北IC間は同年4月に開通している。寒川北IC 海老名JCT間は14年度中の開通を目指し工事が進行している。今回の相模原愛川IC・高尾山IC間が開通することで、東名高速道路と中央自動車道がつながる。

(記事提供・かながわ経済新聞社)

NOと伝える 女性のマーク 県シール印刷協組 アイデアを一般公募

GETプロジェクトの早川正彦委員長が理事長を務める「県シール印刷協同組合」は、女性向けの「痴漢撃退シール」を製作。現在、県警と連携し、普及活動に取り組んでいる。

今回、第二弾のオリジナルシールの開発も検討。デザインアイデアを広く募集している。コンセプトは「NO!と伝えたい女性のためのマーク」。

早川正彦理事長は、「女性が公共交通機関などで痴漢被害などに遭わないため、『NO!』とたくましく表現でき、美しいマークのアイデアをいただきたい」と応募を呼び掛けている。

締め切りは2月14日まで。優秀賞には賞金5万円が贈られる。副賞もある。問い合わせは、同組合045(721)5594まで。(かながわ経済新聞社)

青工研 ビジネス交流会開催 「製造業コマ大戦」も

相模原市青年工業経営研究会(青工研)は2月1日、地元工業の元気さや技術力を内外に広くアピールするイベントを市立産業会館(同市中央区中央)で開く。

国内景気が持ち直しつつあるとはいえ、地域の中小企業にとつての経営環境は依然厳しいまま。こうしたなか、若手経営者が協力。技術だけでなく、地元製造業の元気さも知ってもらおう。こうしたイベントは県内でも珍しいという。

同日は会場内で「全日本製造業コマ大戦・相模原場所」も予定される。「ビジネス交流会」の未来見つけたと銘打った今回のイベントは、青工研所属の30社以上が参加する。

時間は、午前11時～午後5時まで。相模原市内外で計500人の来場を見込む。

当日は3部構成。まず基調講演を企画。2008年6月期まで、売上高営業利益率35%を続けてきた「驚異の町工場」エコーワン精密(東京都府中市)の梅原勝彦・取締役が相模原で登場。「私はこんなことを考えながら『強い町工場』を創り出した」と題し、基調講演する。

続いて、同会所属企業が会社紹介や得意技術などを紹介する展示会「ビジネス交流会」(午後12時45分～同2時45分)に移る。

ここでは、機械加工と板金・製缶・電子・電気設計・製図・アウトソーシング、自動車・建設機械といった業種に分かれて紹介する。それぞれの会社が、自社紹介パネルや製品を並べる。

一方、会場では同会担当者が、来場する企業関係者から、探している技術などを聞き、出展企業とマッチングする。

その後、午後3時から同5時の終了までは「全日本製造業コマ大戦・相模原場所」を行う。

コマ大戦は昨年に企画され、当初は10月下旬の「潤水フェスタ」がみはらの会期中に実施される予定だったが、しかし、台風によるフェスタ中止を受け、開催が白紙になっていた。

青工研の榎間一穂理事は、「若手経営者の熱い思いを見ていただきたい」と参加を広く呼び掛けている。

その後、午後3時から同5時の終了までは「全日本製造業コマ大戦・相模原場所」を行う。

コマ大戦は昨年に企画され、当初は10月下旬の「潤水フェスタ」がみはらの会期中に実施される予定だったが、しかし、台風によるフェスタ中止を受け、開催が白紙になっていた。

青工研の榎間一穂理事は、「若手経営者の熱い思いを見ていただきたい」と参加を広く呼び掛けている。

低炭素社会をめざして 星に願いを込めました。

いま東京ガスが目指しているのは、低炭素社会の実現です。その核となる取り組みが「スマートエネルギーネットワーク」。太陽熱・太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、それらを天然ガスがバックアップ。不安定な再生可能エネルギーをガスコージェネレーションシステムと組み合わせ、未利用熱も活用しながら、地域で電気や熱を融通し合うことで、最適なエネルギー利用を実現します。

低炭素社会へ。
東京ガスは取り組んでいます。
<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

スマートエネルギーネットワーク
低炭素社会への近道を、
7つの星が教えてくれました。

未利用熱
熱融通
太陽熱
天然ガス
電力融通
太陽光
バイオ・風力等

低炭素社会

星座の位置はイメージです。撮影場所: 長野・東京ガスの森